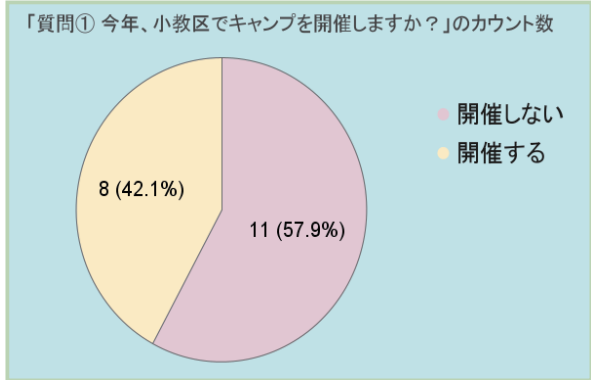


教会キャンプ復活するか？

本格的再開は来年以降になる見込み

時報編集部では、2023年の教会学校キャンプについてアンケートを実施し、19小教区から回答を得た。アンケートから読み取れるのは、新型コロナウイルス禍によって中止や規模縮小に追い込まれていたキャンプを再開させようとする動きが始まっていること。しかし、今年は日帰りや自教会での宿泊で行うか、地区で開催するデイキャンプに合流するところが多かった。今年はまだ取り組めなかったところも、来年に向けては実施したいとの回答が大半を占めた。一方では、キャンプに限らず日常的な教会学校の活動についての問題や課題も明らかになった。

今年、教会キャンプを実施するかどうかを聞いたところ、実施する小教区は8つあった。実施しないと回答した11小教区のうち、2小教区は岸和田地区で開催されるデイキャンプに合流することなので、まったく実施しないのは9小教区であり、半数近くの小教区で何らかの形でキャンプを実施することだった。

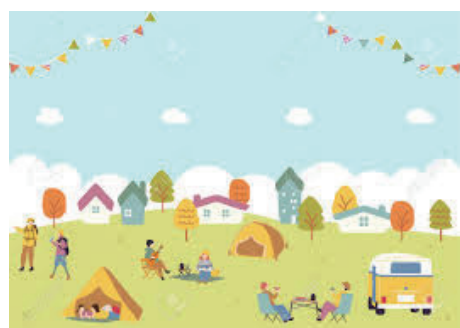


プの日程は、日帰りが5小教区(地区に参加を含む)自教会での宿泊が3であり、近場で短い期間との傾向が明らかになった。出かけて行き2泊以上の宿泊で実施する小教区は、1小教区にとどまった。

コロナ以前のキャンプについての質問に、15小教区が宿泊を伴うキャンプを実施していたと回答している(「ぜひふん前に行っていたが、近年は取りやめたところを含む」)。コロナによる行動制限が緩和されたものの、今年については、キャンプの規模縮小傾向は明らかだ。

来年はどうしたいかどの質問には、12小教区が開催を希望し、宿泊を伴うなど規模の拡大を目指しているところもある。教会キャンプの本格的再開は、来年以降になる見通しだ。

今年のキャンプの内容を聞いてみると、ミサ、パーベキュー、川(水)遊びなど人気のメニューが並び、



短くても子どもたちにも楽しんでもらおうと計画していることが分かる。この機会に保護者間の交流も図りたいと答えた小教区もあった。

コロナ対策についても、ほとんどの小教区で、手洗い、除菌など感染対策を継続すること。

「子どもたちの希望をかなえたい」とキャンプの復活に向けて意欲を示す意見の一方、教会学校やキャンプの運営に向けて懸念を示す意見もみられた。

コロナ禍の影響で教会学校をようやく再開できたこともあり、「子どもたちが教会に来なくなった」ことから、「子どもたちにミサに来てもらう段階で、キャンプなどの行事を開催するのはまだまだ」先になるとの指摘も複数あった。

また、「保護者メンバーで対応していますが、リーダー役の時間的都合や学校行事との調整で、キャンプをはじめとする教会行事全般の開催が難しくなっている」などリーダー側の体制が整わないことも課題になっている。さらに、感染症対策や熱中症対策も重荷

になっている。アンケートから、教会学校の運営やキャンプの実施に向けて、多くの課題があり、解決に苦しんでいる小教区が多いことが明らかになってきた。

【追記】

教会学校の運営についての課題や問題について、解決に向けて現在取り組んでいること、その他子どもたちを巡ることについて、皆さまの意見を募集しています。

メールアドレス
 jiho@osaka.catholic.jp
 FAX
 06-6946-13224

性虐待被害者のための 祈りとつぐないの日

昨今のさまざまな問題を通して「神からいただいたいのち」をもう一度深く味わうために。人を傷つけ、いのちの輝きを奪うことのないように——謙虚な気持ちで学び、傷つき苦しむ人のいのちが再び輝きを放つよう、定期的に祈りの時間を持つことによって連帯できますように願っています。

どなたさまも自由にご参加ください。

10/7 (土) 14:00

◆ テゼによる祈りの集い

場所: サクラファミリア 3F
 聖堂とホワイエ

15:00

◆ 参加者の自由な分かち合い

16:00 終了



主催 ハラスメント対応委員会 (※名称変更)
 問合せ 教区本部事務局 ☎ 06-6941-9700



甲子園教会 献堂60周年

甲子園教会は、日本26聖人のひとり聖フランシスコ吉がこの地で自ら希望して捕縛されたという由縁で「聖フランシスコ吉」を守護聖人とし1963年7月28日に創立され、今年で60周年を迎えた。

前田万葉大司教の司式で7月23日に記念ミサが行われた。ミサの初めに「教会の還暦祝ふ甲子園」、説教の中では「受堅者よ共に憐れむ 祖父母の日」の句を詠まれた。

ミサの中で若い受堅者6人の堅信式もあり、大司教から、本日は「祖父母と高齢者のための世界祈願の日」でもあり、これを踏まえて若者世代と高齢者がひとつになつてキリストの「信仰、希望、愛」を証し、還暦後も教会を盛り上げていくようにと祝福と励ましをいただいた。

【主催者の感想】

今年の4月にアマド・カバレロ神父様が甲子園教会の主任司祭に着任され、喜びの心で60周年をむかえることができた。6年前、主任司祭の松本武三神父様が突然帰天され、心細い思いをいたしました。ご多忙な中、夙川教会の神父様方、芦屋教会

の神父様が甲子園教会の主任司祭も兼任し導いてくださったことに、本当に感謝しています。守護聖人聖フランシスコ吉に見守られ、歴史・感謝喜びを心に、甲子園教会と向き合い、祝福し、これからも甲子園教会を大切にしていきたいです。

【当日の様子】

ミサ後、聖堂で大司教様を囲んで参加信徒全員で記念写真撮影が行われた。その後、信徒館ホールに移動してティーパーティが開かれた。引っ越してご無沙汰の信徒の方、愛徳姉妹会のシスター6人もお祝いに来られた。

(文 甲子園教会広報担当)